

学校再開！～新しい生活様式で日常をつくろう～



6月1日～12日の2週間、長期にわたる臨時休業を踏まえ、皆さんが学校生活に順応するためのウォーミングアップ期間を経て、6月15日より、いよいよ通常授業が再開されました。3学年全員がそろうのは、4月9日以来のことです。

新型コロナウイルスの影響で、私たちが「日常」とと思っていた景色はずいぶんと変わってしまいました。しかし、生徒たちが通い始めた学校では、新しい生活様式を実践しながらも、生徒の明るい笑顔や元気な声があふれるこれまで通りの学校が戻ってきたようです。このような学校の姿がこれからも継続できるよう、現段階では、最大限の感染予防に努め、学校で感染拡大が起きないようしっかり備えていかなければならないと考えています。2週間のウォーミングアップ期間は人数を半分にしての登校でしたので、通常の学校生活ではそれと比較するとより密になります。そこで大切なことは、これまで以上に一人一人が感染防止対策をとったうえで、新しい学校生活のスタイルを意識して過ごすことです。右下の図は、国が示した「新しい生活様式」の実践例ですが、これらのこと들을うまく学校生活に落とし込んで、それが当たり前の日常となるよう意識していきましょう。

なお、放課後の部活動もまだ条件付きながら再開されていますが、これはこれでまた新たな注意が必要です。その代表的な例として「マスクの着用」があります。学校も含めた日常生活では、すでにマスクの着用は習慣のように定着してきました。登校時に見ていると着用し忘れている生徒はほぼいません。しかし、体育の授業や部活動などの運動時は呼吸の負担になること、また、着用によってのどの渇きが感じられず、水分補給が滞ることで熱中症のリスクが高まることなどから、マスク着用の必要はないと言われています。その際は、いわゆる「ソーシャルディスタンスが重要となり、「距離を置いて走る」「近距離対面での練習は避ける」など練習方法の工夫が必要です。このように、運動の際は、外したり、付けたりと、どうしても煩雑になりがちなのですが、これも新しい習慣としてしっかり意識して、自分自身の判断でも適切に対応できるようにしてください。

部活動は、長く活動から離れていると、体力面もさることながら、モチベーションの点でもこれまでの状態に戻すのは難しい面があります。ましてや、全校放送でも伝えたように夏季市内大会の中止が決定したことでおさらだと思います。大会を目標にしていた特に3年生にとっては残念で仕方ないことでしょう。でもここで後輩の顔を見て気持ちを切り替えてみてください。先輩として部の伝統を1・2年生に引き継ぐこと、そして、自分自身の進路希望先で改めて挑戦することも含め、自分なりに新しい目標をもって前を向いてしっかりと活動してほしいと願っています。

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
- 遊びにいくなら屋内より屋外を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用
- 家に帰ったら必ず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに手洗い・手指消毒
- 咳エチケットの徹底
- こまめに換気

- 身体的距離の確保
- 「3密」の回避（密集、密接、密閉）

- 毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養

(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務
- 時差通勤でゆったりと
- オフィスはひろびろと

- 会議はオンライン
- 名刺交換はオンライン
- 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成予定

生徒会も始動！～今までより 今から～

6月15日（月）6限、1年生に向けて「生徒会オリエンテーション」と「部活動紹介」を実施しました。「生徒会オリエンテーション」では、生徒会本部のメンバーが各委員会の活動を寸劇と解説で分かりやすく説明してくれました。準備の時間が十分に取れないなか、それでも生徒会本部のメンバーはしっかりと取組をやりきってくれます。本当に頭の下がる思いです。また、「部活動紹介」では、各部のキャプテン・部長が代表して堂々と部をアピールしてくれました。そして、最後は恒例のくす玉割りです。過去には途中で勝手に割れてしまうというアクシデントもありましたが、今回は大成功！くす玉から何色もの紙吹雪とともに「今までより今から～会いたい自分がいる方へ～」と書かれた垂れ幕が披露されました。「さあ、今から、新しい自分、理想の自分に向って歩みを進めてほしい」という先輩から1年生への力強いメッセージでした。

6月17日（水）7限、各学級で学級役員選挙がありました。生徒会の大きな活動を学級レベルにつないでいく大切な役割です。それぞれの学級が充実した学級になってこそ、この西ノ京中学校が盛り上がりていきます。ぜひともそのリーダーシップをそれぞれの学級づくりに生かしてください。

6月22日（月）6限、前期学級役員認証式を放送で行い、放課後には、第1回評議・専門委員会を開きました。生徒会活動は、学級・学年、また、学年を超えて豊かに人間関係を築きながら、学校の様々な問題を生徒自らの手で解決していくこうとする活動です。そのためには、認証書を受けた学級役員のリーダーシップはもちろんのこと、それ以外のすべての生徒のフォロワーシップが不可欠です。この二つががっちりかみ合った時、一人一人の個性が輝く素敵な学校ができると思います。そんな意味で全員の活躍を期待しています。



学校運営協議会も始動！～はるかのひまわり絆プロジェクト～



日ごろからお世話になっている学校運営協議会の方々が、「はるかのひまわり絆プロジェクト」に応募して、送っていただいた「はるかのひまわりの種」を昇降口前花壇やプランターに植えていただきました。約3カ月で花が咲くそうです。成長が楽しみですね。

また、野良猫の糞尿被害対策のため花壇の周りにネットを張っていただきたり、朝の挨拶にも立っていただいたりするなど、学校再開と同時に学校運営協議会の活動もスタートしています。今後、テスト前自主学習や土曜学習会でもお世話になります。

「はるかのひまわりの由来」

平成7年1月17日に、大きな地震が神戸を襲いました。木造の建物は、2階部分が崩れ落ち、1階は完全に押しつぶされてしまいました。はるかちゃんの遺体は、ガレキの下から発見されました。半年後、その場所に無数のひまわりの花が、力強く、太陽に向かって咲いているのを見た、はるかちゃんのお母さんは、「娘がひまわりとなって帰ってきた」と涙しました。近所の人たちは、この花を「はるかのひまわり」と呼びました。

はるかちゃんを助け出せなかった悔しい思いから、はるかちゃんと同級生の娘さんを持つ保護者の方が、「はるかのひまわり」を全国に普及させる活動を始められました。

「はるかのひまわり絆プロジェクト」には、この花を育てることを通して、災害の悲惨さや命の尊さについて考えを深め、「人の尊厳」や「人との関りの大切さ」を知ってほしいという思いが込められています。

昇降口の前を通るときには、ぜひこのひまわりに目をとめて、「命の尊さ」について考えてみてください。

